

公開シンポジウム「緊急集会：被災した自然史標本と博物館の復旧・  
復興にむけて－学術コミュニティは何をすべきか？」

開催趣旨：東日本大震災による自然史標本及びその収蔵施設被害の状況を把握し、  
迅速な救済を支援するとともに、将来にわたり標本と施設を激甚災害か  
ら守るための対策を学術会議として提言するために、情報収集と意見交  
換を行う。

1. 主 催：統合生物学委員会自然史・古生物学分科会
2. 共 催：自然史学会連合
3. 後 援：日本古生物学会、日本人類学会、日本植物分類学会、生物多様性 JAPAN
4. 日 時：平成23年6月6日(月)13:30～17:10
5. 場 所：日本学術会議 大講堂
6. プログラム：  
第一部：  
13:30-16:10：いまを知る  
13:30-13:35：開催あいさつ  
西田治文(日本学術会議連携会員・中央大学理工学部教授)  
13:35-13:45：緊急集会の趣旨について  
真鍋 真(日本学術会議連携会員・国立科学博物館主任研究員)  
13:45-14:05：文化財レスキューについて 六川真五(東京文化財研究所)  
14:05-14:25：岩手県の状況報告 大石雅之(岩手県立博物館)  
14:25-14:45：宮城県の状況報告 佐々木理(東北大学総合学術博物館)  
14:45-15:05：福島県の状況報告 竹谷陽二郎(福島県立博物館)  
++++  
休憩：15:05-15:30  
++++  
15:30-15:50：水族館の事例報告 岩田雅光(アクアマリンふくしま)  
15:50-16:10：「岩手県山田町に寄贈した海藻標本について」 吉崎 誠(元東邦大学)  
第二部：  
16:10-17:00：具体的なアクションプランを作るために、これからを考える  
進 行：西田治文・真鍋真  
登壇者：第一部の報告者に加えて、文科省社会教育局及び文化庁担当  
者などパネリストによる討論。さらに数名の指定討論者を指名予定。  
17:00-17:10：結語  
斎藤靖二(日本学術会議連携会員・神奈川県立生命の星・地球博物館館長)